

みんなで話をする

▶新しいことを知り周囲に語る

サイエンス・サポート函館 活動指針 (2015.1.25)

科学をまちに出す

■みんなで話をする

函館から世界を帰る

2009年



2010年8月科学夜話 | 海苔を飼う
科学祭初参加の函館国際水産・海洋都市推進機構から、福田寛さんが海苔の研究について話題提供。【科学夜話:2009~】



2010年8月サイエンスダイアログ | 食の未来を函館から考える
対談型講演会で、料理人・深谷宗治さんが科学技術の観点から食の未来について語った。【サイエンスダイアログ:2010~】



2009年8月科学夜話 | 北海道のキノコと自然環境
サイエンスカフェアーティスト・高木ユリアさんが植物画に描きとめてきたキノコの生態、自然環境などを話題とした。【科学夜話:2009~】



2011年8月科学夜話スペシャル
七沢薫さんを講師に、科学技術のリスク、原発事故もたらしたリスクとの向き合い方等について話を聞いた。【科学夜話スペシャル:2011~】



2009年8月サイエンストーク
社会と科学のクロスオーバーをテーマに、市立函館高校の生徒が8題の課題研究論文を発表、研究者や建築家等と意見を交わした。【サイエンストーク:2009~】



2012年7月サイエンストーク
函館地域の、専門高校の生徒、科学系部活の生徒らが取り組んだ科学研究について成果発表を行った。【サイエンストーク:2009~】



2011年8月サイエンスダイアログ
絵本カーニバル in 科学祭に合わせ、絵本カーニバルをプロデュースした目黒美さん講師に「絵本のチカラ」について話を聞いた。【サイエンスダイアログ:2010~】



2013年8月サイエンスダイアログ
料理人・深谷宗治さん、食メディア研究を行っている山岡洋子さんと未来の食について考えた。【サイエンスダイアログ:2010~】



2012年7月2050年委員会 in ハコダテ
地球温暖化問題の専門家をはじめとする研究者、クリエイター、企業家等から、2050年の社会を考えるヒントを聞き、2050年の函館について参加者同士で話をした。【2050年委員会 in ハコダテ:2012~】



2014年8月サイエンスダイアログ
市立函館病院の木村純さん、望月友美子さんに話を聞き、私たち自身の健康、地域の健康について考えた。【サイエンスダイアログ:2010~】



2013年7月2050年委員会 in ハコダテ | 未来の食卓
「未来の食卓」をテーマに、専門家や学生等が集い、2050年のハコダテを想像しながら食に関わる地域の未来について話をした。【2050年委員会 in ハコダテ:2012~】



2014年7月2050年委員会 in ハコダテ | わたしの健康、ハコダテの健康
行政の健康推進担当者、死を看取り続けてきた看護師から話を聞き、参加者同士で健康に関わる地域の未来について話をした。【2050年委員会 in ハコダテ:2012~】

2014年